

## 「西郷村第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」の取組と目標の進捗状況及び公表について

### I. 趣旨

本村では、平成30年3月に策定した「西郷村第8次高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画（計画期間：平成30年度～32年度）」に基づき、「高齢期における自立した生活の維持～みんなで支え合うバランスのとれた共生社会の構築～」の基本理念のもと、4つの基本目標を定め計画的に施策事業の実施に取り組んでおり、その進捗状況について報告する。

### II. 施策・主要事業の取組状況

#### ■基本目標1 健康づくり・介護予防の推進

介護予防の効果的な推進を図り、生活支援の担い手となる高齢者等の社会参加を促し、地域の実情に応じた住民主体によるサービスづくりの充実をめざします。

また、関係機関や地域団体等の連携・協力により、高齢者にふさわしい仕事やボランティア・NPO活動等の促進を図ります。

#### 1 健康づくりの推進

##### (1) 保健・福祉を支える人材の育成

##### ① 健康づくり推進員の育成《計画書34ページ》

	H29年度	H30年度		R元年度	R2年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
健康づくり推進員（人数）	20	20	20	20	20
健康づくり推進団体数（団体）	1	1	1	1	1

##### 【進捗状況】

平成30年度の健康づくり推進員数は20名となっています。地域において村民の健康づくり活動普及・啓発を担う役割が期待される健康づくり推進員の健康づくりに関する研修を充実し、ボランティアの育成に継続して取り組んでまいります。

##### (2) 生活習慣病予防

##### ① 生活習慣病予防《計画書34ページ》

	H29年度	H30年度		R元年度	R2年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
受診勧奨者の医療機関受診率（%）	92.3	92.0	89.6	92.0	93.0
糖尿病有所見者率（%）	59.6	54.0	59.0	52.0	50.0

### 【進捗状況】

受診勧奨者の医療機関受診率は、89.6%と目標値より下回っております。今後も、受診勧奨を継続して行く必要があります。また、糖尿病有所見者率は、見込値よりも上回っております。有所見者の割合を減少させるため、対象者にあわせた保健指導を実施して行く必要があります。

### ② 健康推進事業《計画書 35 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
健康づくり・健康増進各種検診の参加者（人）	7,627	7,800	9032	7,900	8,000
からだの学校登録者数（人）	166	180	225	190	200

### 【進捗状況】

自らの健康、家族の健康のほか、自らの生活の場である地域とともに暮らす人に関心を持ち、お互いの健康に気づかう意識の醸成に努める必要があります。

また、健康づくりの意識の向上を図るため、健康づくりに関する知識を得られるように、健康に関する情報の提供・実施を行って行く必要があります。

### (3) 一般介護予防

#### ① 介護予防把握事業（西郷村高齢者福祉トータルサポート事業）《計画書 35 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
訪問件数（件）	4,600	4,500	3,880	4,500	4,800
調査件数（件）	2,234	3,800	2,247	3,800	4,000
チェックリスト作成件数（件）	—	3,500	1,876	3,800	4,000

### 【進捗状況】

平成 29 年度で平成 25 年度からの協定期間が終了し、平成 30 年度より新たに単年度で協定を締結し、実態調査や介護予防のチェックリストの作成を行ってまいりました。

西郷村を 3 地区に分け実施しておりますが、北部地区（星の郷みらい）において調査員が他業務に携わり訪問することができず、北部地区の件数が伸びなかったことなどから目標値を下回りました。また、介護予防のチェックリストの作成については、初めての取組みで 1 件あたりの調査に時間を要したため目標値をかなり下回りました。

令和元年度からは協定先を見直すとともに、新たに火災警報器の設置状況を調査項目に加え、引き続き実態調査や介護予防チェックリストの作成を行ってまいります。

## ② 介護予防普及啓発事業

### ア お元気運動教室《計画書 36 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
参加者延べ人数（人）	486	720	561	750	780

#### 【進捗状況】

平成 30 年度では、目標値を 159 人下回る結果となりましたが、平成 29 年度と比較して延べ 75 人の参加者の増加に繋がりました。参加者は全 3 クールのうち 2 クールは満員になりましたが、1 クール目では 2～3 名の空きが出てしまいました。原因としては、開催期間が 6 月から 9 月に行い農作業等の繁忙期に重なってしまったことや、参加者の体調不良や欠席が多かったため、実績値が目標値より減少した結果となりました。また、参加者の教室参加前と参加後の体力測定の結果を測定すると、身体機能の維持向上に繋がりました。

令和元年度では引き続き事業を継続するとともに、冬期間の参加者数が多いことから冬期間の開催回数を増やし、より多くの方が参加できるよう目指してまいります。

### イ いきいき教室《計画書 36 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
いきいき教室延べ人数（人）	82	240	142	270	300
いきいきフォローアップ教室延べ人数（人）	202	270	186	270	300

#### 【進捗状況】

平成 30 年度では、「いきいき教室」、「いきいきフォローアップ教室」共に目標値を下回る結果となりましたが、平成 29 年度の延べ人数の合計よりも 44 人の増加がみられました。参加者は高齢者の中でも高齢の方や ADL の低い参加者が多く、初回のみでの参加で中断された方や欠席が多かったため延べ人数が減少したと考えられます。

令和元年度では教室の開催回数を増やすとともに、住民の ADL が低下しないように継続的な受け入れ態勢の構築を目指してまいります。

## ③ 地域介護予防活動支援事業（シニア健康教室）《計画書 37 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
シニア健康教室（地区）	7	8	7	9	10
介護予防サポーター人数（人）	0	27	0	37	47

### 【進捗状況】

平成 30 年度では、2 項目において目標値を下回る結果となりました。シニア健康教室の新規地区の開拓には至りませんでした。村内 7 地区で自主的な介護予防活動を継続して実施することができました。

また、介護予防サポーターの養成を平成 30 年度でも開催できなかったため令和元年度では、すでに受講した方のフォローと新規の方の養成講座を開催し、住民主体の介護予防の輪が村内に広がるよう引き続き支援してまいります。

### ④ 地域リハビリテーション活動支援事業《計画書 38 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
派遣依頼数（回）	0	1	0	1	1

### 【進捗状況】

平成 30 年度の派遣依頼はなく、目標値を下回る結果となりました。

介護予防事業を実施するに当たりリハビリテーション等の専門職の視点や技術は必要であるため、現在行っている事業内容を鑑みて検討してまいります。

## 2 介護予防・日常生活支援総合事業の充実

### (1) 介護予防・生活支援サービス事業

#### ① 訪問型サービス《計画書 39 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
訪問型サービス A 実施事業所	—	0	0	1	1
訪問型サービス D 実施事業所	—	0	0	1	1

### 【進捗状況】

平成 30 年度では訪問型サービス A（緩和した基準によるサービス）と訪問型サービス D（移動支援）は目標値のとおりとなっております。緩和したサービス事業実施につきましては、生活支援体制整備事業の第 1 層協議体や第 2 層協議体、地域ケア会議等を活用し、地域のニーズにあったサービスが提供できるよう事業所等と協議を重ねながら引き続き取り組んでまいります。

#### ② 通所型サービス《計画書 39 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
通所型サービス A 実施事業所	—	0	0	1	1

### 【進捗状況】

平成 30 年度では通所型サービス A（緩和した基準によるサービス）は目標値のとおりとなっております。緩和したサービス事業実施につきましては、訪問型サービスと同様に生活支援体制整備事業の第 1 層協議体や第 2 層協議体、地域ケア会議等

を活用し、地域のニーズにあったサービスが提供できるよう事業所等と協議を重ねながら引き続き取り組んでまいります。

### 3 生きがいくりの支援

#### (1) 生涯学習《計画書 40 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R30 年度	R 元年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
寿学級延べ参加人数（人）	395	500	499	600	700
きらり学ぶ講座延べ参加人数（人）	268	280	304	300	320

##### 【進捗状況】

寿学級は趣味の講座や文化祭での発表、村外研修を通じて全 11 回活動しました。健康体操、編み物、カラオケ、絵画、茶道の 5 つの教室があり、平成 30 年度からは文化センターで活動する自主サークルに発展し活動の輪を広げています。また、学級生の希望により趣味の講座の回数を 1 回増やしたことにより延べ参加者数の増加に繋がりほぼ目標値となりました。

きらり学ぶ講座は、郡山在住の漢字教育士「八重樫 一氏」を講師に招き、漢字の歴史、成り立ち、部首の種類や四字熟語の時事問題に触れながらの漢字解説で全 10 回を通し講和していただき、延べ参加人数の増加に繋がりました。

引き続き生涯学習として、新規の参加者の拡充と新しい企画などを考え、参加者の生きがいを感じるような充実した講座を目指しています。

#### (2) スポーツ・レクリエーション《計画書 40・41 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
健康パドル体操参加延べ人数（人）	287	300	397	320	340
健康麻雀教室延べ参加人数（人）	375	400	451	420	440

##### 【進捗状況】

健康パドル体操及び健康麻雀教室ともに平成 29 年度からの継続事業ですが、全戸配布のチラシや防災無線の広報などにより、延べ参加人数は目標値より増加した人数となりました。両事業ともに自主サークルの立ち上げを目標にしており、麻雀教室同様に、健康パドル教室も自主サークル化への立ち上げを行い、高齢者の生きがいくりや健康づくりに努め、参加者を増やしてまいります。

#### (3) 老人クラブ活動《計画書 41 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
会員数（人）	184	190	200	195	200
年間活動回数（回）	95	115	103	120	125

##### 【進捗状況】

平成 30 年度は会員数及び年間活動回数の目標値を下回りましたが、平成 29 年度

と比較するといずれも増加しました。

また、冬期間の活動の場であるニュースポーツの参加者数が平成 29 年度の 227 人から 320 人に増加したほか、そば・うどん打ち体験に比較的若い世代が参加するなど、一部で活発な活動が見受けられます。

今後は、興味を引く活動など多彩なメニューを取り入れ、減少傾向にある会員数を増やし、高齢者の生きがいづくりの支援及び閉じこもり防止に努めてまいります。

#### (4) ボランティア活動《計画書 41・42 ページ》

	H29 年度	H30 年度		H31 年度	H32 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
子どもの安全見守り隊員登録数(人)	80	80	79	82	84
勉強会の開催数(回)	2	3	9	0	0
協議体の設置	—	1	4	2	2

##### 【進捗状況】

平成 30 年度は村の広報誌による周知及び学校の総会などの呼びかけなどにより、子供の安全見守り隊員登録数はほぼ横ばいとなりました。

なお、地域づくり勉強会を 9 回行い、地域住民の活動を知り、地域のニーズにあったサービスの提案、自分達のできることを話し合う場として、日常生活圏域(北部、中部、南部)に第 2 層協議体の設置を行いました。

今後は、協議体での活動啓発や地域における支え合いの勉強会を開催し、ボランティア意識向上を行い、子ども達だけでなく、高齢者の見守り等の住民主体による互助を推進してまいります。

#### (5) シルバー人材センター《計画書 42 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
会員数(人)	127	136	132	143	150
受託・派遣受注件数(件)	1,079	1,130	1,121	1,160	1,190
受託・派遣契約金額(千円)	44,482	47,850	45,737	46,520	49,200

##### 【進捗状況】

会員募集のチラシ配布等を行い、わずかながら会員数が増加しましたが、目標値に至りませんでした。

また、受注件数及び契約金額については、通常の 2・3 月期の実績により目標値を設定したため、目標値に至りませんでした。平成 29 年度と比較し増加しました。

高齢者の生きがいや健康増進の場、経済的な面からも高齢者にとり重要な組織であるため、引き続き、会員数や全受託件数・金額の増加に向け支援を行い、生きがいの充実を図ります。

## ■基本目標 2 地域包括ケア体制の充実

地域共生社会の実現に向けて、相談・情報提供体制の充実を図るとともに、地域団体の連携強化やボランティア活動等の様々な地域の社会資源を活用して、高齢者がなるべく住み慣れた地域で暮らせる取組を推進します。

また、高齢者の在宅での生活継続のため、医療・介護の連携を図り、利用者のニーズに応じ、継続的な支援を図ります。

### 1 地域包括ケアシステムの構築

#### (1) 地域包括ケアシステムの強化《計画書 43 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
白河地域在宅医療拠点センター設置	1	1	1	1	1
生活支援協議体の開催（回）	0	3	4	3	3
地域ケア会議の開催（回）	0	3	0	3	3

#### 【進捗状況】

平成 30 年度も地域包括ケアシステムの強化に向けて、在宅医療・介護の連携について、白河地域在宅医療拠点センターに委託し、多職種とネットワークを構築することができ円滑に連携できています。

生活支援協議体については、平成 30 年度に第 1 層、第 2 層ともに設置を行い、定期的な情報共有や連携強化の場として、今後も開催してまいります。

また、地域ケア会議について包括支援センターによる圏域別地域ケア会議等は開催いたしましたが、村主催による地域ケア会議については、地域課題の把握が開催することが出来ませんでした。

なお、各地区実情に応じた、協議体及び地域ケア会議を必要に応じて開催してまいります。

#### (2) 地域ケア会議の開催《計画書 44 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
地域ケア会議（個別地域ケア会議含む）の回数（回）	0	2	14	2	2
自立支援型地域ケア会議の開催（回）	—	—	—	1	1

#### 【進捗状況】

地域ケア会議については、包括支援センターによる地域ケア会議は開催しましたが、村主催の全体的なものや、困難事例についての会議は開催しませんでした。

また、自立支援型地域ケア会議については、平成 30 年度中に要綱整備を行い平成 31 年度より会議開催としているため、平成 30 年度の実績はなしとしています。

今後は生活支援協議体とも連携し、地域の実情に合わせて、地域包括ケアシステムの発展に繋げられるよう、地域ケア会議を活用するしくみを構築する予定です。



### (3) 人材の育成 《計画書 44 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
介護人材の確保（人）	-	5	0	10	16

#### 【進捗状況】

村単独ではなかなか解決できない問題なので国や県へ働きかけるとともに、村民及び関係機関等と連携して、勉強会等を開催し介護保険への関心を持っていただき、介護人材の確保及び育成に取り組んでまいります。

## 2 高齢者を支える地域の体制づくり

### (1) 見守り支え合う地域づくりの構築

#### ① 見守り安心ネットワーク事業 《計画書 45 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
事業利用世帯（世帯）	248	285	227	300	315

#### 【進捗状況】

平成 30 年度は死亡や施設入所、家族との同居により撤去する世帯が増え、目標値を下回りました。また、協力員の高齢化も進んでいるため、協力員変更等の対応を行いました。

今後も高齢者が安心して生活できるよう、月 2 回のお元気コールを継続し安否確認や緊急時の迅速な対応を図ります。

#### ② 高齢者見守り活動事業 《計画書 45 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
協定締結数（社）	5	6	5	7	8

#### 【進捗状況】

高齢者の見守り協定として、「株式会社日本ウォーターテックス」、「郡山ヤクルト株式会社」、「福島県南生活協同組合」、「日本郵便株式会社（白河、磐城熊倉、西郷、川谷）」、「ヤマト運輸株式会社」の 5 社と協定を結んでおります。なお、平成 30 年 3 月に日本郵便株式会社（東北支社）と、「郵便局のみまもりサービス」をふるさと納税の返礼品とすることに関する協定も締結しております。

また、高齢者に限らず、地域の活性化及び住民サービスの向上を目的とした村内郵便局と白河郵便局との包括連携協定も令和元年 5 月に締結しております。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう協定を結ぶ企業を増やし、見守りの強化を図ります。



### ③ 住民主体のサロン《計画書 46 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
いきいきサロン実施地区（か所）	7	7	9	6	7

#### 【進捗状況】

平成 30 年度は一部の地区で廃止となったものの、3 地区増えたことにより目標値に至りました。なお現在実施している地区は谷地中、追原、芝原、熊倉、川谷、上新田、上羽太、折口原、大平の 9 地区となります。

今後はサロン同志の交流等を計画し、地域住民が生きがいや仲間づくりの場、通いの場として継続して活動できるよう、引き続き西郷村社会福祉協議会と連携しながら支援をまいります。

### ④ 西郷村さわやか訪問収集事業《計画書 46 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
訪問実績（延べ人数・人）	869	1,440	1,065	1,920	2,400
利用者数（人）	18	30	23	40	50

#### 【進捗状況】

平成 30 年度では、訪問実績と利用者数ともに目標値を下回りました。原因としては、登録者人数は増えておりましたが、利用者の転出や死亡のために減少したと考えられます。しかし、平成 29 年度と比較すると訪問実績は 196 人、利用人数は 5 人増加しております。加えて訪問した際に利用者の体調不良が発覚し、ケアマネジャー等から医療機関へつなげることができ、目的である訪問による安否確認の効果はありました。

今後も引き続き、安否確認が必要な住民の方にサービスを提供できるよう、周知を図ってまいります。

### ⑤ 生活支援コーディネーターの活用《計画書 47・48 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
第 1 層コーディネーターの配置（人）	1	2	1	2	2
第 2 層コーディネーターの配置（人）	0	2	0	4	6

#### 【進捗状況】

平成 29 年 8 月 1 日付けで第 1 層コーディネーターを地域包括支援センターに 1 名配置し、平成 31 年 3 月 25 日付けで委嘱しました。第 2 層コーディネーターに関しては、平成 30 年度に第 2 層協議体を設置し、その協議体の中から今後配置を予定しています。

## (2) 家族介護への支援

### ① 要介護等高齢者介護者激励金支給《計画書 48 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
激励金交付件数 (件)	81	90	87	100	100

#### 【進捗状況】

介護者の増加により、激励金の支給件数は増加傾向にあります。また、交付の基準において、介護保険料及び村税を滞納していない者としたため、滞納していた村税を納める方もおり、一定の効果はありました。

引き続き、介護者労苦をねぎらうとともに経済的負担を軽減し、高齢者福祉の増進を図りますが、今後は家族介護慰労金との調整を行う必要があります。

### ② 家族介護慰労金《計画書 48 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
慰労金対象者数 (人)	0	1	0	1	1
慰労金交付率 (%)	0	100	0	100	100

#### 【進捗状況】

平成 30 年度は対象者がおりませんでした。

家族介護慰労金は金額が 10 万円と多額であるため、対象となる方を的確に判定し、介護者の労をねぎらうとともに経済的な負担の軽減と要介護高齢者宅の在宅生活の継続、向上を図ります。

## 3 地域支援事業の充実

### (1) 包括的支援事業の活用

#### ① 地域包括支援センターの運営《計画書 49 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
ケアマネ会議の開催 (回)	5	6	3	6	6
総合相談支援件数 (件)	500	600	607	600	600

#### 【進捗状況】

平成 30 年度は、ケアマネ会議の開催は半分となったものの総合相談支援件数は見込みどおりとなっています。今後も、制度改正等など必要に応じて、ケアマネジャーへの個別指導や勉強会を定期的実施し、相談・助言に繋げています。

② 在宅医療・介護連携推進事業《計画書 49・50 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
他職種連携会議の実施回数（回）	2	1	5	1	1
住民への講演会・講座実施回数(回)	0	1	0	1	1

【進捗状況】

在宅医療・介護連携推進事業については、平成 28 年度から西白河郡の市町村と連携し、白河地域在宅医療拠点センターに委託しております。平成 30 年度は、多職種連携会議の実施回数については見込みどおり実施できました。多職種間の交流は会議から多職種連携研修会に重点を置くようにして、理解を深めております。平成 30 年度の多職種連携研修会は 5 回開催しました。令和元年度も引き続き会議、研修で多職種間の理解・交流を深めていきます。

また、住民への講演会・講座については、平成 30 年度は実施できませんでした。住民の理解は必要であり、市町村間で連携しながら実施していきます。

③ 認知症総合支援事業《計画書 50 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
認知症初期集中支援チーム支援件数（件）	1	1	0	1	1

【進捗状況】

平成 30 年度での支援件数は 0 件であり目標値を下回る結果となりました。認知症の方や家族が認知症初期集中支援チームの介入なしに医療や介護のサービスに繋がったためだと考えられます。今後も認知症または認知症の疑いのある方または家族に必要な医療や介護の調整をいつでも行えるよう、引き続き認知症地域支援推進員や地域包括支援センターと連携し、早期に認知症初期集中支援チームに繋げる体制を整えてまいります。

④ 生活支援体制整備事業《計画書 51 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
第 1 層協議体の設置	0	1	1	1	1
第 2 層協議体の設置	0	1	3	3	3

【進捗状況】

平成 30 年度は、第 1 層及び第 2 層協議体を設置いたしました。

現在は、継続して勉強会の開催を行っており、定期的な情報共有及び連携強化を図っております。

令和元年度は、視察研修等を取り入れながら、生活支援コーディネーターと連携を図り、運用に向けて取り組んでいきます。

#### 4 医療・福祉・介護連携体制の整備

##### (1) 医療・福祉・介護の連携のための人材の育成等《計画書 52 ページ》

	H30 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
在宅医療を担う医師数（人）	13	13	13	14	15
在宅医療を受ける患者数（人）	409	310	533	340	370

##### 【進捗状況】

平成 30 年度までは、西白河郡において在宅医療を担う医師は 13 名でした。

在宅医療を担う医師は高齢化の問題を抱えており、また、一人の医師が診察できる患者数には限りがあるため、今後も医師の確保は必要です。西白河郡の市町村と連携しながら県、国に働きかけていきます。

#### 5 高齢者の住まいの確保

##### (1) サービス付き高齢者在宅等高齢者向けの住まいの確保《計画書 52 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
有料老人ホーム及びサ高住の整備支援	0	1	0	1	1
施設待機者数の解消（人）	0	40	0	40	30

##### 【進捗状況】

平成 30 年度は、施設の整備支援までには至りませんでした。今後、関係部署と連携して整備を促進し、待機者の解消および必要なときにサービスを受けることができ高齢者が安心して居住できる住まいの充実を図っていきます。

### ■基本目標 3 利用者本位の介護保険事業の推進

利用者の立場に立った相談・苦情対応やサービス提供事業者の情報公開などの体制を充実します。

また、介護人材の養成・確保とともに、介護サービスの質の向上に取り組み、利用者が安心してサービスを選択し、円滑に利用できる環境づくりを進めます。

さらに、介護サービス量の見込みや確保に努めるとともに、介護保険制度を円滑に運営するため、介護給付費の適正化を図ります。

#### 1 介護サービスの充実

##### (1) 介護保険サービス事業者への支援及び指導・助言

###### ① 居宅支援事業者への支援《計画書 53 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
居宅介護支援事業所への実地指導 (件)	—	2	0	2	2

##### 【進捗状況】

平成 30 年度については、定期的にケアマネ会議や勉強会を開催し指導・助言を行ってきました。今後もケアマネジャーの資質の向上に努めます。

また、実地指導については、今後、スムーズに実地指導ができるように取り組んでいます。

###### ② 地域密着型サービス事業所への支援《計画書 53 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
地域密着型サービス運営委員会の開催 (回)	2	3	2	3	30
地域密着型サービス事業所への実地指導 (件)	0	1	0	1	1

##### 【進捗状況】

平成 30 年度については、定期的に運営委員会を開催し適切に運営されているか評価しました。本年度についても定期的に運営委員会を開催し取り組んでいきたいと思えます。

なお、実地指導については実施には至りませんでした。スムーズに実施できるよう検討してまいります。

## 2 介護保険事業の適正・円滑な運営

### (1) 介護給付適正化に向けた取組の推進《計画書 54 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
ケアプランチェック率 (%)	1.4	1.7	1.8	1.9	2.0
国保連適正化システム関連データ分析による過誤申立件数 (件)	—	5	5	5	5

#### 【進捗状況】

平成 29 年度は、介護給付適正化事業の主要 5 事業（要支援・要介護認定の適正化／ケアプランの点検／住宅改修・福祉用具購入の点検／縦覧点検・医療情報との突合／介護給付費通知）について実施しました。特にケアプランの点検については、例年通り、同居家族がいる場合の生活援助算定及び福祉用具貸与の例外給付についてチェックを行ったため、見込み通りの実績となっています。

平成 30 年度より、国保連適正化システムによって提供される給付実績の活用データの分析・評価も併せて行い、受給者が必要なサービスを過不足なく提供するよう、事業所に対して随時指導・助言を行っていきます。

### (2) 低所得者対策の推進《計画書 54 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
利用者軽減件数 (人)	16	20	13	22	24

#### 【進捗状況】

平成 30 年度については、施設に協力を依頼し対象者の把握及び負担軽減証の発行を行いました。事業該当者が見込みよりも少なく、実績値が減となりました。今年度も継続して事業の周知に努め、低所得者の経済的負担の軽減を行っていきます。

## ■基本目標 4 高齢者福祉の充実

様々な生活支援サービス等を提供し、高齢者の自立した生活を支援します。

また、認知症対策として、認知症についての住民の理解を深めるとともに、早期に発見、対応できる体制や、認知症高齢者や家族を支える仕組みづくりにも取り組みます。加えて、高齢者虐待は人権侵害であることから、虐待を防止するとともに、被害者や養護者の支援を進めます。

さらに、地域の中での見守りの仕組みの構築など、安全・安心を感じられる地域づくりにつなげていきます。

### 1 生活支援サービスの充実

#### (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業《計画書 55 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
利用者（延人数）	70	84	19	84	84
利用実績（延回数）	255	336	70	336	336

#### 【進捗状況】

在宅で生活する介護保険対象外の高齢者に対してデイサービスに通所し、各種サービスの提供をうけ生きがいと社会参加の促進を図っています。

平成 30 年度においては、利用者が介護保険事業に移行したため、利用者数及び利用実績数が目標値を大きく下回りました。

総合事業との連携をとり、自立生活の助長を図っていきます。

#### (2) 訪問理美容サービス事業《計画書 55 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
助成券発行枚数（枚）	42	48	48	60	72
事業利用延べ回数（回）	21	30	28	36	42

#### 【進捗状況】

助成券発行枚数及び利用延べ回数は平成 29 年度実績を上回りました。今後は一般の理美容院を利用することが困難な方が増えることも予想されます。

今後は計画書に記載してあるとおり、広報等で周知し、介護を受けている方や外出が困難な寝たきり等高齢者への生活支援を行ってまいります。

#### (3) 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業《計画書 56 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
事業延べ利用人数（人）	136	170	132	180	190
寝具類利用枚数（枚）	342	510	337	540	570



【進捗状況】

例年に比べ申請者数が少なく、回収当日にキャンセルされた方も多かったため、延べ利用人数及び寝具類利用枚数は見込値を下回りました。しかし、広報等を見て申請された方も増えてきているため、今後も周知を行います。

事業を継続して実施することにより、寝具類の衛生向上を図り、居宅生活での就寝の快適化と健康保持の促進を図ります。

(4) はり、きゅう、マッサージ等の施術費用助成事業《計画書 56 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
申請者数 (人)	180	180	178	190	200
延べ利用枚数 (枚)	674	960	666	980	1,000

【進捗状況】

申請者数・延べ利用枚数は平成 29 年度実績とほぼ横ばいとなりました。広報等での周知により申請者は増えてはいますが、利用枚数は伸び悩んでおります。

今後は、計画書に記載してあるように広報等で周知し、継続して高齢者の健康保持及び福祉の向上を図ります。

(5) 外出支援事業《計画書 57 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
事業登録者 (人)	210	230	210	250	270
延べ利用回数 (回)	2,505	2,800	2,624	3,100	3,400

【進捗状況】

平成 30 年度の事業登録者及び延べ利用回数は、平成 29 年度とほぼ横ばいとなりました。

平成 31 年 1 月より企画財政課（現企画政策課）でデマンド交通の実証実験がスタートし、午後の便が増えたため高齢者の外出の機会が増えました。

令和元年度において、外出支援事業が終了しデマンド交通に統合されましたが、高齢者のみならず村民が使いやすい公共機関の快適性の向上に努めます。

(6) 老人温泉利用助成事業《計画書 57 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
助成券利用枚数 (枚)	7	40	14	50	60

【進捗状況】

平成 30 年度は個人 2 名、老人クラブ 1 団体のみの利用で見込値を大きく下回りました。

本事業は老人クラブの利用が多くを占めておりましたが、利用者の高齢化に伴い施設の老朽化などにより、利用が困難な状況が見受けられました。

平成 30 年度においては西郷村行政評価推進委員の外部評価を受け、内部で検討を行い、事業の廃止が決定いたしました。

なお、今後は「西郷村人と地域の絆づくり推進補助金」を活用し、老人相互のコミュニケーションの場を提供してまいります。

#### (7) 日常生活用具給付事業《計画書 57・58 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
給付件数 (件)	0	1	0	1	1

##### 【進捗状況】

平成 30 年度は対象者がおりませんでした。

今後は、ひとり暮らし高齢者の増加も懸念されるため、日常生活での便宜を図り、福祉の増進を行います。

#### (8) 寝たきり高齢者等紙おむつ支給事業《計画書 58 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
申請者数 (人)	336	330	345	340	350
紙おむつ給付券延べ利用枚数 (枚)	2,489	2,475	2,605	2,550	2,625

##### 【進捗状況】

申請者数及び紙おむつ給付券延べ利用枚数は見込値より増加しました。さらに、登録者数、利用者数共に増加したことにより、支給額は平成 29 年度より約 35 万円増加しました。

今後は、計画書に記載してあるように数年に一度調査を行い、要介護等認定者及び総合事業対象者数の実態に併せた事業内容を検討してまいります。

#### (9) 高齢者温泉無料開放事業《計画書 58・59 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	H32 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
無料証明書発行枚数 (枚)	320	305	304	310	315
バス利用者人数 (人)	139	205	122	210	215

##### 【進捗状況】

無料証明書発行枚数については、ほぼ見込値どおりの枚数となりました。バスの利用人数は利用される方が限られており見込値を大きく下回りました。

「高齢者無料証明書」は 70 歳の誕生日を迎えられた方に郵送していましたが、令和元年度より申請方式に切り替わり、年度ごとに更新していただくことになりました。また、毎月第 2、4 水曜日 (12 月～2 月を除く) に無料バスを運行しましたが、デマンド交通の拡充により令和元年 6 月をもって運行を廃止することとなりました。

(10) 軽度生活援助事業《計画書 59 ページ》

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
利用者数（人）	11	12	7	14	16
延べ利用回数（回）	219	312	159	364	416

【進捗状況】

介護保険総合事業が開始され新規利用者が増えにくい状況に加え、総合事業への移行、転出等により利用者数及び延べ利用回数は平成 29 年度より減少し、目標値を下回りました。

今後は、現在の登録者が介護保険に移行し少しずつ減少していくことが想定されるため、より一層事業の周知を強化していく必要があります。新たな利用者を増やし、高齢者の自立した生活の継続に支援し、要介護又は要支援への進行防止に努めます。

2 敬老事業

(1) 敬老祝金

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
敬老祝金支給額（千円）	10,300	10,900	10,475	13,850	15,150

【進捗状況】

敬老祝金の支給方法を平成 26 年度より口座振替に移行しました。また、平成 28 年度からは前年度の口座に振り込むことにより事務の効率化が図られ、平成 29 年度に引き続き平成 30 年度においてもすべての対象者に敬老祝金を支給いたしました。

今後も引き続き、75 歳以上の高齢者に敬老祝金を支給し、長寿を祝福し村民の敬老意識の高揚を図ります。

(2) 百歳高齢者賀寿

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
支給対象件数（件）	7	3	1	6	14

【進捗状況】

福島県の百歳高齢者知事賀寿事業と共に、村の百歳高齢者賀寿事業を実施しています。

平成 30 年度の対象者は 1 名で、進達で行いました。

今後も引き続き、百歳の高齢者に対し村長からの祝状及び祝金を贈呈し、その長寿を祝い、併せて村民の間に広く老人福祉についての関心と理解を深め、老人の健康の増進に努める意欲の高揚を図ります。

### (3) 敬老会

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
出席者数 (人)	147	200	163	225	250
出席率 (%)	12.34	14.8	13.61	15.2	15.4

#### 【進捗状況】

西郷村敬老事業検討委員会の提言を受け、平成 29 年度に引き続き、対象年齢を 75 歳から 80 歳に引き上げ、2 日間にわたり東京第一ホテル新白河で開催しました。

80 歳以上に引き上げたことにより、出席数及び出席率は低いものの増加傾向にあります。なお、対象者から介護認定者を除くと出席率は 21.40%になります。

当面は同様のスタイルで実施し、多年にわたり社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝ってまいります。

## 3 認知症施策の推進

### (1) 認知症に対する正しい知識の普及推進

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
認知症サポーター養成講座 (回数)	1	1	2	1	1
認知症サポーター数 (人)	342	353	450	353	378

#### 【進捗状況】

平成 30 年度では、「認知症サポーター養成講座」を 2 回開催し、介護保険事業所職員と住民向けに行い、2 項目において目標値を上回る結果となりました。

令和元年度では認知症サポーター養成講座の対象を成人や高齢者だけではなく小・中学校等の学校教育の現場でも開催を予定しております。若い世代から高齢者まで、「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症に対する正しい知識の普及・啓発を行い、認知症サポーターの養成に努めてまいります。

### (2) 認知症の早期発見や見守り体制整備

#### 【進捗状況】

住民の方に対し、広報等で認知症地域支援推進員や認知症初期集中支援チームについての役割や相談先を周知することにより、認知症を初期段階でも相談や早期発見に繋がるネットワークの構築に繋がりました。

令和元年度でも引き続き、認知症の相談先や関係機関等の周知を行い、認知症の早期発見と見守りを図ってまいります。

### (3) 認知症の予防

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
認知症カフェ（設置数）	0	1	0	1	1

#### 【進捗状況】

平成 30 年度では認知症カフェを設置できなかったため、目標値を下回る結果となりました。平成 30 年度と令和元年度に先進地で行われている認知症カフェを視察し、令和元年度 7 月に太陽の国厚生センターで認知症カフェの開催を予定しております。西郷村に住んでいる認知症の方や家族、住民の方が気軽に相談や話し合える場と安心して暮らせる地域づくりを目指し、関係機関等と協力してまいります。

## 4 高齢者の権利擁護の推進

### (1) 権利擁護に関する取組の充実

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
成年後見制度の活用促進（件）	2	5	4	5	5
高齢者虐待への対応（件）	2	0	8	0	0
相談延べ件数（件）	240	270	161	280	290

#### 【進捗状況】

権利擁護については、西郷村包括支援センターに業務を委託しており、平成 30 年度では延べ 161 件の相談件数がありました。

成年後見制度が 4 件、疑いを含めた高齢者虐待の対応が 8 件となっており、平成 29 年度と比較しいずれも増加しています。なお、平成 29 年度までは認知症に関する相談も権利擁護に計上したため、平成 30 年度の実績値は減少しました。

今後も西郷村地域包括支援センターの社会福祉士等と連携し、専門的・継続的な視点からの支援を行ってまいります。

### (2) 虐待防止への取組の推進

	H29 年度	H30 年度		R 元年度	R 2 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
虐待防止ネットワーク委員会の開催（回）	0	1	0	1	1

#### 【進捗状況】

平成 30 年度の高齢者の虐待は、福祉課からの連絡により虐待として 1 件取り扱い、現在も養護者の支援を行っております。

平成 19 年に「虐待防止ネットワーク委員会」を組織しておりますが、近年の委員会を開催しておりませんので、年に 1 回は委員会を開催し虐待の現状及び虐待防止など取り組んでまいります。

## 5 高齢者にやさしいまちづくりの推進

### (1) ユニバーサルデザインのまちづくりの推進

#### ① 高齢者にやさしい住まいづくり助成事業

	H29 年度	H30 年度		H31 年度	H32 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
住宅改修件数（件）	88	50	36	55	60
住宅改修費（千円）	9,269	5,000	3,649	5500	6000

#### 【進捗状況】

平成 30 年度の住宅改修件数は介護保険住宅改修が優先となったため、当初の目標値を下回りました。しかし、住宅改修の需要は増えており、1 件あたりの改修金額も増加傾向にあります。今後は高齢者の増加が見込まれるため、対象者に助成を行い、自立と在宅福祉の向上を図ります。

### (2) 災害時要援護者支援事業

	H29 年度	H30 年度		H31 年度	H32 年度
	実績値	目標値	実績値	目標値	目標値
75 歳以上高齢者独居及び高齢者のみ世帯情報提供回数（回）	2	2	2	2	2
介護認定者情報提供回数（回）	12	12	2	12	12

#### 【進捗状況】

平成 30 年度は、見込みどおり、健康推進課から総務課へ 75 歳以上の高齢者独居及び高齢者のみ世帯の情報提供と介護認定者情報の提供を行い、総務課で避難行動要支援者名簿の更新を 2 回行いました。介護認定者では、住所を他市町村から移さず施設に入居している方も多いため、実態を事業所と連携しながら、今後も災害時に円滑な避難を図るため、一層の情報の共有を図ってまいります。